

一般社団法人日本麺類業団体連合・全国麺類生活衛生同業組合連合会が主催する「第40回そばの花観察運動」は、全国の小学校の子どもたちが育てたそばの花をさまざまな表現で描いた写生画が、1,018作品寄せられました。

昨年12月15日、本間基史先生（関東甲信越静地区造形教育連合元理事長）、杉山聡先生（全国小学校図画工作教育連盟事務局長）による審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞2点、努力賞10点、日麺連賞10点、そして参加校・応募作品数を高めることを主旨として、今年も佳作100点が選ばれました。

協賛：製粉協会・一般財団法人製粉振興会



最優秀賞

三重県大台町立三瀬谷小学校 6年
西山 和奏

全体的に白を基調とした優しい色合いの表現でまとめられ、見る人の気持ちを穏やかに癒してくれるような素敵な作品です。

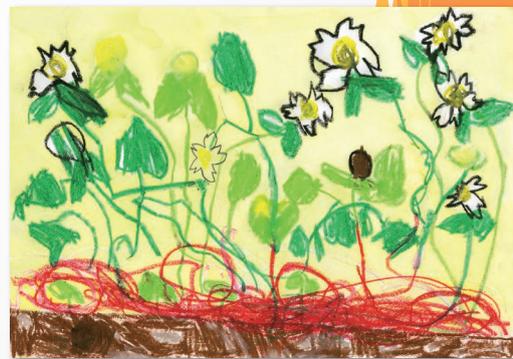
様々な白の絵の具の塗り重ねや描画材を使い分けるなどして、細かい範囲での明暗や色彩の感じをよく考えながら表したことが伝わってきました。背景も同ような色合いで表すことで、見る人のイメージをより広げ、思いをめぐらすことができる作品となっています。



山形県上市市立宮川
小学校 3年生
五十嵐 優

「寒い中でも凛として強く成長していくそばの花」そのような強い思いが伝わってくるような作品です。鉛筆や細筆で一本一本丁寧に、そばの花を観察しては丁寧に描いていった姿が感じられました。

花びらやおしべめしべ、葉の感じなど、筆の遣い方や絵の具の混色もよく考えて取り組んだのではないのでしょうか。繊細な筆遣いでそばの花を表したことで、優しさだけでなくそばの花の強さやしなやかさも作品から感じます。



福井県福井市日之出小学校 1年生
花山 巧

画面いっぱいにのびのびと描かれたそばの花が、見る人の気持ちを明るく元気にさせてくれる作品です。

そばの花を観察しながらどんどん手を動かしてかいていったのでしょうか。緑や黄緑で描かれた茎や葉の色合いや動きを見ていると、本当にそこ咲いているかのような生命力も感じます。背景の色合いや花の大きさやバランスも絵のよさをひき立たせています。

努力賞



福島県白河市立白河第一小学校 5年
伊藤 千智



東京都葛飾区立葛飾小学校 3年
溝上 紗弓



福井県福井市啓蒙小学校 6年
木下 煌太



福井県福井市日之出小学校 2年
菊池 真伍



福井県福井市麻生津小学校 2年
吉田 康平



福井県福井市美山啓明小学校 6年
中村 あざ美



福井県福井市美山啓明小学校 5年
川端 乃愛



福井県福井市美山啓明小学校 3年
川端 愛未



福井県福井市美山啓明小学校 1年
前田 優羽



福井県あわら市細呂木小学校 4年
石丸 和果

日麴連賞



福島県白河市立白河第三小学校 5年
吉田 孝太郎



宮城県登米市立北方小学校 2年
後藤 健汰



福井県福井市啓蒙小学校 6年
森 鳳華



福井県福井市麻生津小学校 2年
沢田 恭祐



福島県白河市立白河第一小学校 5年
齋藤 沙帆



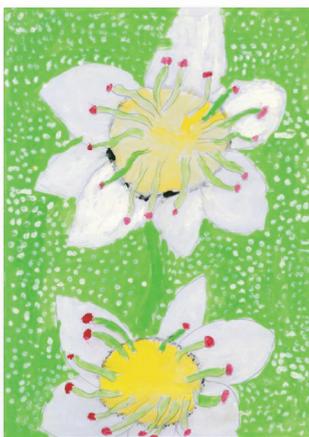
福井県福井市日之出小学校 2年
黒川 葉月



福井県福井市美山啓明小学校 2年
江上 璃咲



福島県白河市立白河第一小学校 5年
根本 凜暖



三重県大台町立三瀬谷小学校 3年
森本 新大



長野県長野市立戸隠小学校 1年
小林 夕稀

佳 作

宮城県	登米市立北方小学校	6年	菅原 竣太	東大和市立第九小学校	6年	杉本 彩凜	福井市宝永小学校	2年	森家 星那		
	登米市立北方小学校	2年	遠藤 壮真		東大和市立第九小学校	5年		和田 菜鳳	福井市美山啓明小学校	6年	清水 琉嘉
	登米市立北方小学校	2年	加藤 紬菽		東大和市立第九小学校	4年		窪田 日向乃	福井市美山啓明小学校	5年	松山 和佳奈
	登米市立北方小学校	2年	佐々木 恵美		東大和市立第九小学校	3年		小野 辰晃	福井市美山啓明小学校	4年	江上 翔毅
	登米市立北方小学校	2年	高橋 明里		東大和市立第九小学校	2年		窪田 丈太郎	福井市美山啓明小学校	4年	横山 悠大
	登米市立北方小学校	2年	三浦 眞結		東大和市立第九小学校	2年		中藤 涼乃	福井市美山啓明小学校	3年	中村 美晴
秋田県	秋田市立土崎小学校	6年	斉藤 凜	東大和市立第九小学校	1年	岡村 優	福井市美山啓明小学校	1年	山本 隼平		
	秋田市立土崎小学校	6年	瀬部 莉亞	福井市麻生津小学校	2年	青竹 泰知	あわら市細呂木小学校	6年	神尾 拳士		
	秋田市立土崎小学校	5年	工藤 香穂	福井市麻生津小学校	2年	朝井 香帆	あわら市細呂木小学校	6年	後藤 優芽		
	秋田市立土崎小学校	1年	瀬部 かのは	福井市麻生津小学校	2年	朝日 美咲	あわら市細呂木小学校	6年	中本 優吾		
	大館市立城西小学校	2年	猪又 光哲	福井市麻生津小学校	2年	板倉 紬叶	あわら市細呂木小学校	4年	窪田 飛煌		
	大館市立城西小学校	1年	畠山 にこは	福井市麻生津小学校	2年	漆崎 由弦	長野県	長野市立戸隠小学校	1年	武田 周大	
山形県	上山市立宮川小学校	3年	堀 杜宇和	福井市麻生津小学校	2年	中村 汐里	静岡県	静岡市立西奈南小学校	6年	芹沢 優希	
	白河市立白河第一小学校	5年	金澤 暖大	福井市麻生津小学校	2年	西出 滯未		静岡市立西奈南小学校	4年	神谷 芽衣子	
	白河市立白河第一小学校	5年	高菦 小陽	福井市麻生津小学校	2年	吉田 清澄		静岡市立西奈南小学校	3年	柴田 紅杏	
	白河市立白河第一小学校	5年	長沼 ゆな	福井市啓蒙小学校	6年	岩佐 長虎		静岡市立西奈南小学校	2年	望月 穂乃香	
	白河市立白河第一小学校	5年	宗形 陽	福井市啓蒙小学校	6年	桑野 菜依		静岡市立西奈南小学校	1年	笠羽 美希	
	白河市立白河第一小学校	5年	和知 栞愛	福井市啓蒙小学校	6年	田中 宇紀		三重県	大台町立三瀬谷小学校	3年	國谷 智加
白河市立白河第三小学校	5年	遠藤 梨子	福井市啓蒙小学校	6年	山下 小晴	大台町立三瀬谷小学校	3年		西田 花想		
白河市立白河第三小学校	5年	金澤 愛紀	福井市啓蒙小学校	5年	入澤 周平	京都府	平安徳義会養護園		6年	岡田 玖留美	
白河市立白河第三小学校	5年	加茂 源真	福井市日之出小学校	2年	かわばた みゆ		平安徳義会養護園		5年	田中 元馬	
白河市立白河第三小学校	5年	佐藤 彰吾	福井市日之出小学校	2年	せき いちか		平安徳義会養護園		4年	前田 姫葉梨	
白河市立白河第三小学校	5年	白石 蓮珠	福井市日之出小学校	2年	ふじい さきな		平安徳義会養護園		3年	西田 穂乃花	
白河市立白河第三小学校	5年	高久 実采	福井市日之出小学校	2年	ふじもと なお		平安徳義会養護園	2年	福井 結愛		
白河市立白河第三小学校	5年	深谷 怜奈	福井市日之出小学校	1年	黒川 航玄		兵庫県	丹波市立青垣小学校	3年	足立 涼	
白河市立白河第三小学校	5年	松本 小夏	福井市日之出小学校	1年	高井 寿佑	丹波市立青垣小学校		3年	足立 奏世		
東京都	墨田区立小梅小学校	6年	中平 明花莉	福井市日之出小学校	1年	竹内 心陽		丹波市立青垣小学校	3年	足立 実彩娘	
	墨田区立小梅小学校	6年	長谷部 愛依	福井市日之出小学校	1年	塚尾 莉帆		丹波市立青垣小学校	3年	上治 千咲	
	墨田区立小梅小学校	5年	梅田 怜奈	福井市日之出小学校	1年	野口 華愛		丹波市立青垣小学校	3年	小谷 葉那	
	荒川区立第六瑞光小学校	6年	塩原 美波	福井市宝永小学校	2年	植松 花来		丹波市立青垣小学校	3年	下野 花恵	
	葛飾区立葛飾小学校	3年	井上 颯瀬	福井市宝永小学校	2年	岡島 朱寿夏	丹波市立青垣小学校	3年	畑田 遥陽		
	葛飾区立葛飾小学校	3年	今寺 愛音	福井市宝永小学校	2年	高澤 悠仁	丹波市立青垣小学校	3年	山本 陽太		
	葛飾区立葛飾小学校	3年	伏 結衣子	福井市宝永小学校	2年	庭本 康誠					
	葛飾区立葛飾小学校	3年	宮下 あかり	福井市宝永小学校	2年	三村 京香					

「第40回そばの花観察運動」作品審査総評

関東甲信越静地区造形教育連合 元理事長 本間 基史

第40回そばの花観察運動に今年は1,118点の作品が集まりました。北は宮城県から南は兵庫県まで11の都府県からの応募がありました。

本作品展の大きな特徴は希望する学校にそばの花の種を配り、子供たちが、水やりをし、精魂を込めて育てた自分のそばの花を描くことにあります。自分たちで育てたそばの花をじっくり観察することは特別な意味があります。私も本年度は種から実際にそばの花を育ててみました。まとめて種を蒔いてしまったため、茎が絡まってしまい大変でした。しかし、葉っぱはこんな感じ、茎もこんな風に伸びていくよね。花の咲き方はこうだよねと共感しながら作品を選ぶことができました。入選作品は、今回もそばの花を主役に、本来の趣旨である観察画として優れたものを選び

ていただきました。繊細なそばの花、葉、茎に目を向け、細かい色の変化、花や葉の形状を捉え、表現した作品です。

本作品は子供の視点でそばの花を大きく描くのか、小さく描くのか、まわりの様子、背景をどのように取り組むのか自己決定して、構図も自分で決めて描いています。そして、実物を観察しながら描いています。この子は小さい花が沢山咲いていることに感動したんだ。この子は茎の色の変化に興味を持って表現したんだ。葉っぱの葉脈が面白かったんだと、素直に表現された作品からは、子供の思いが伝わってきます。同じ構図の作品が学級ごとで揃っていることはないはず。学習指導要領が改定され、どの教科でも個別最適化が言われる中、造形活動においては特に一人一人の表現が尊重されなければいけません。観察画でも、子供が興味を持った

のが、花や葉や茎の色なのか、形なのか、花の咲く情景なのか指導者は捉える必要があります。決して、指導者のイメージの色調や混色方法やタッチを押し付けてはいけません。そばの花とじっくり向き合っ、感じた色や形を自由に描かせてあげる環境を、指導者の方が保証するように引き続きお願いします。将来のジョージア・オキーフやセザンヌがいました。

そばの花を育てるには、水やりや雑草拔いたり、間引いたり土に触れ、か細い花を大切に育てなければいけません。この体験が絵を描く上でも大切になっています。どの作品からも、花を見つめる子供たちの優しい視線が伝わってきました。豊かな表現活動の一助となっています。次年度も、より多くの学校が参加してくれることを願います。